

Merry Christmas の Merry とは「陽気な」という意味ですが、陽気なだけのクリスマスを過ごしていると、クリスマスの本質、すなわち救いを見失ってしまいます。

聖書をお開き下さい。ルカ 2 : 8-16 節です。

イエス様誕生の時代に羊飼いは、現金収入の少ない田舎者となっていたようです。生活の困難を覚え、辛い毎日を過ごしていた彼らは、やがて来る救い主を待ち焦がれていました。

その晩も、羊を守るために野宿していました。突然天使が目の前に立ち、「今日ダビデの町ベツレヘムで、救い主、メシヤが生まれました。布にくるまって飼葉おけに寝ている嬰兒を、あなたたちは見つける。」と伝えました。するとこれまた突然、数えきれないほどの天使が現れて、讃美しました。「天には栄光、神に。地には平和、み心に適う人々に。」美しい歌声は羊飼いの心を魅了し、慰めたはずで

見逃してならないことは、天国の使いが神の栄光を讃えると同時に、彼らとはかけ離れた地上の平和を祈ったという事です。完成された栄光の中におられる神様が、その御位に居座るのではなく、人々の元へと下り来て、遜って人の世の平和を祈られる、不思議にもその姿こそが神様の栄光だと言うのです。ここに救いの本質があります。救いとは、救いを与える神様の方が遜って、いただく方の私たちの元に下り、「どうか救いを受けてくれ、争いはやめて平和を築こう」と、いわば嘆願するような形で与えられます。それほどに熱い主のみ思い、万軍の主の熱意が成し遂げる救いです。(参照/ホセヤ 3 : 1-5、イザヤ 9 : 1-6)

羊飼いたちは方々を訪ねまわって、救い主の待つ家へたどり着きました。そこで確信を得た彼らは、「大いなる喜び」に満たされました。

人類に「喜び」が与えられた。では神様の側には何があったのでしょうか。

神様は羊飼いに告げるよりも、もっと前から救い主誕生を告げていたのです。エリヤから始まって、マラキに至るまで全ての預言者が、詩篇を歌ったダビデも、アブラハムやアダムも、旧約聖書の全てが救い主を指し示しています。ベツレヘムで生まれることまで知っていたのに、人々は救い主の誕生を無視したのです。

この時の神様のお心を、後にイエス様は、ルカ 14 : 15-24 の「大宴会のたとえ」として語っておられます。主人が大宴会を開いて、大勢の人を招いたのに、招待客は目先の幸福を言い訳にして断ってしまった。主人は怒って貧しい人、体の不自由な人を招きに行かせます。それでもまだ席が残るほどの無尽蔵の宴会でした。無理に人々を連れて来て家を一杯にしてくれと主人は言います。それは「あの招かれた人たちの中に、私の食事を味わう者は一人もいない」という嘆きから出た、主人の悲痛な叫びでした。

主なる神様のみ思いは怒りだったとありますが、その怒りの中心にあるのは、心を込めた招待状を破り捨てられたやるせなさ、かけがえのない民を失う嘆き、痛みを伴うほど深い神様の悲しみです。この悲しみは救い主の生涯を、誕生から始まって、十字架に至るまで貫いています。救い主の出現と言う「人々の大いなる喜び」は「父なる神の深い悲しみ」と対になって与えられました。喜びの源である神様が悲しみを引き受けて下さるのでなければ、罪に沈み、悲しみの世に生きる人々に喜びを与えることができないのです。この逆転が救いです。悲しみと喜びが一つとなるのが、万軍の主の熱意です。

そこでもう一度、羊飼いに告げられた天使による神様の言葉を読みましょう。「民全体に与えられる大きな喜びを告げる」という第一声です。そうです。この喜びは弱さを認めている者ばかりではなく、大宴会を断った人

たち、救いを求めようとしない者にも、全人類に与えられています。

私たちの中には、神様にすがりつくしかない弱い自分と、解っているのに自分の都合を言い訳に拒絶してしまう強がりの自分とが、両方います。その両方を神様は招き、救い主を与えてくださいます。しかし弱い自分は救いを喜びとしてすぐに受け取ったとしても、強がりの自分が神様のお心を受け取るのは案外難しいものです。それには、救いの全体像として喜びと対になる、神様の悲しみを受け取る必要があります。人間の拒絶を神様がどんなに深く悲しみ、嘆いておられるかを味わい知る時、喜びと悲しみが対となる救い主なる神様の熱意を受け取るのです。主の悲しみに出会った人は、強がる自分を十字架で打ち砕かれて、復活の主と共に、もう一度立ち上がることができます。

祈り 救い主が遡って私たちの下においでくださったクリスマスをありがとうございます。喜びと悲しみが一つとなった万軍の主の熱意が成し遂げてくださいました。父の神の悲しみに思いを巡らし、本当の救いの喜びを受け取るものとしてください。十字架と復活で悲しみと喜びを一つにされたクリスマスの主、イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。